

山鹿市立山鹿中学校 第2学年 英語科 学習指導案

期 日 平成27年12月8日(金) 第5校時
 場 所 山鹿市立山鹿中学校 2年1組教室
 指導者 教諭 田崎 英明
 ALT Christopher Nimmo

1 単元名

「Program 9 A Priest in a Mask」(SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 開隆堂)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は神父がレスラーになるという奇想天外な実話である。不良少年であったセルジオが自分のような不良少年や困っている子供を救うために神父になろうと一生懸命に勉強し、神父になっていく姿は、中学生にとって、等身大のモデルとして感動を与えるものである。

本単元では、比較級や最上級を使って、自分のしたいこと、行動の目的、何をするためのものかを英語で表現する能力とそれらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することがねらいである。

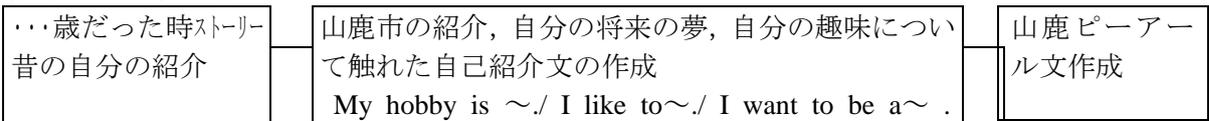
また、本研究では、外国語活動で育成する「21世紀型能力」を「コミュニケーションの目的を果たすために、自らの意志や伝達内容を形成しながら、他者と自律的かつ主体的にかかわろうとする資質や能力」と定義している。この資質や能力をはぐくむためには、ねらいに沿った単元構成及び指導が必要である。目的意識・相手意識を引き出す学習課題を設定し、Writing 活動を通して、多様な考えを持った他者と協働しながら考えを伝え合う場を設けることで、自分の考えを深めていく姿を検証する。

(2) 系統観

言語材料の系統性



言語活動の系統性



(3) 生徒観

○本学級の生徒は全体的に明るく、授業に対する取組が真面目である。提出物もきちんと揃い、忘れ物も少ない。家庭学習が定着していない生徒が数名見られるが、やる気のない生徒は見られない。また、おとなしく、自分に自信を持てずに発表できない生徒が見られるが、学習意欲は高まってきている。

(生徒アンケート結果より：一部抜粋 平成27年10月16日(月)実施 36人対象)

4 (あてはまる) 3 (どちらかと言えば、あてはまる) 2 (どちらかと言えば、あてはまらない) 1 (あてはまらない)

| | 番号 | 質 問 | 結 果 (数字は人数) |
|------------------------|----|---|--|
| 意識調査 | ① | 英語が好きである, または英語の授業は楽しい | 4 (2 1) 3 (1 1) 2 (4) 1 (0) |
| | ② | 英語でコミュニケーションをとることに興味がある | 4 (1 2) 3 (1 2) 2 (1 1) 1 (0) |
| | ③ | 自分の将来に英語は必要であると考えている | 4 (2 1) 3 (1 4) 2 (1) 1 (0) |
| | ④ | 4技能で一番好きな活動 | 聞くこと (1 0) 話すこと (9) 読むこと (4) 書くこと (1 3) |
| | ⑤ | 4技能で一番苦手な活動 | 聞くこと (1 0) 話すこと (1 4) 読むこと (4) 書くこと (8) |
| 書くこと | ① | 英語を書くことが好きである, または興味がある | 4 (1 3) 3 (1 8) 2 (5) 1 (0) |
| | ② | 英文を書くとき, その英文を読む人を意識して書いている | 4 (3) 3 (1 6) 2 (1 5) 1 (1) |
| | ③ | 英文を書くとき, 文と文の内容的なつながりを考えて書いている | 4 (1 2) 3 (2 0) 2 (4) 1 (0) |
| | ④ | 英文を書くとき, 文をつなぐ語 and, because 等を使うことを意識している | 4 (1 0) 3 (1 8) 2 (8) 1 (0) |
| | ⑤ | 英文を書くとき, 代名詞を使うことを意識している | 4 (2 2) 3 (1 2) 2 (2) 1 (1) |
| | ⑥ | 英語を書いて, 自分の英文を話すことが楽しい | 4 (1 0) 3 (1 2) 2 (1 2) 1 (1) |
| | ⑦ | 英文を書いて, 友だちの英文を聞いたり, 読んだりするのが楽しい | 4 (9) 3 (1 6) 2 (9) 1 (1) |
| | ⑧ | 英語を通して, 互いに関わり合えることが楽しい | 4 (1 3) 3 (1 3) 2 (8) 1 (1) |
| | ⑨ | 英語を通して, 自分の英語を伝えたいと思う | 4 (1 0) 3 (1 4) 2 (8) 1 (3) |
| | ⑩ | 英語を通して, 相手のことを知りたいと思う | 4 (1 0) 3 (1 2) 2 (1 1) 1 (2) |
| 書くことへの 関心・意欲・ 態度 | ① | 間違ふことを恐れずに積極的に書いている | 4 (7) 3 (1 3) 2 (1 4) 1 (1) |
| | ② | 辞書やワークシートを活用しながら書いている | 4 (7) 3 (1 0) 2 (1 0) 1 (8) |
| | ③ | うまく書けないところがあっても知っている語句や表現で書き続けている | 4 (9) 3 (1 4) 2 (1 1) 1 (1) |
| 協働・協調的 な学び | ① | 友だちと学び合うとき, 自分の伝えたいことを伝えることができる | 4 (8) 3 (2 0) 2 (6) 1 (1) |
| | ② | 友だちと学び合うとき, 自分の考えや間違いに気付いて正しい考えに直すことができる | 4 (1 2) 3 (1 7) 2 (6) 1 (0) |
| | ③ | 友だちと学び合うとき, 自分の考えと友だちの考えを比べて, いろいろな考えのよさに気付くことができる | 4 (1 3) 3 (1 3) 2 (9) 1 (0) |
| | ④ | 友だちと学び合うとき, 友だちの考えを聞いて, 組み立てていた自分の考えをもう一度組み立て直すことができる | 4 (1 3) 3 (1 6) 2 (4) 1 (2) |
| | ⑤ | 友だちと学び合うとき, 自分の考えや友だちの考えをつなぎ合わせながら, 新しい考えを創り出すことができる | 4 (7) 3 (1 9) 2 (8) 1 (1) |

○多くの生徒が英語の学習を好きである, 楽しいと回答している。英語でコミュニケーションをすることにも興味があり, 将来に英語は必要であるという意識も高く, 英語への関心の高さがうかがえる。

- 4技能の中で一番好きな活動は **Writing** 活動、**Listening** 活動であると回答している生徒が多い。しかし **Writing** 活動においては、一番苦手な活動であるとしている生徒も数名いる。
- 書くことについては、内容的なつながりや代名詞等を用いながらまとまりのある英文を書くことには意識があるが、読み手を意識した書く活動までは至っていない。目的意識や相手意識のある学習課題を設定し、互いに関わり合いのある言語活動を展開していきたい。
- ペアやグループ学習を取り入れた **Writing** 活動を通して「自分のことを伝えたい」「相手のことを知りたい」という思いを高め、自分の考えを伝えることや他者の考えを知ることの喜びを感じさせたい。

(4) 指導観

- 協働・協調的な学びを手立てとしながら、21世紀型能力の育成のために、他者と協調しながら活動することによって、目的意識・相手意識に基づくコミュニケーションへの気付きや態度を育み、人間関係形成力を養う。
- 目的意識や相手意識を引き出す学習課題を設定することで、与えられたトピックについて対話したり、ペアやグループを活用しながら考えや発想を広げる活動を行う。また、互いに評価・改善する活動を通して、生徒に学習を振り返らせ、その内容を共有することによって価値の自覚化を図る。
- 内容の一貫性や接続詞や代名詞の適切な使用を意識させ、**Writing** 活動を単元に位置付けて、まとまりのある英文を書く力を伸ばしたい。生徒の発想を広げる思考ツールも活用しながら、**Writing** 活動を進めていく。
- より説得力のある英文を書くために、ICTや写真等を活用しながら、情報を収集・分類・整理しながら工夫して **Writing** 活動に取り組む。

◇インクルーシブ教育の視点から

【基礎的環境整備】

- ・ 一人一人が学習に見通しが持てるように学習過程を提示する。
- ・ 英語を得意とする生徒を必ずグループ配置した英語学習グループを設定し、学び合いの学習がより深まるようにする。

| 【視点1】学びを引き出す豊かな かわり合いのある言語活動 | 【視点2】学びを振り返る思考過程の 可視化と学びの振り返り | 【視点3】学びを支える学びの UD化と効果的なICTの活用 |
|--|---|--|
| <p>ペアやグループで「山鹿の自慢を紹介する」という目的意識・相手意識を引き出す学習課題を設定する。互いの情報や意見・考えを伝え合い、発想を広げる活動を通して、豊かな関わり合いのある授業を目指す。</p> | <p>生徒の思考過程を見取るワークシートを工夫し、自分の意見・考えを英文にまとめたものを、さらに文章をより説得力あるものにするために、お互いに評価・改善する活動を目指す。</p> | <p>より説得力のある英文を書くための情報を、友達にインタビューし、絵や写真、インターネット等を活用したりするなど、主体的な情報活用を促す授業を目指す。</p> |

3 単元の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

| | |
|---------------------|---|
| 単元の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○比較級，最上級，原級の比較表現を用いて英文を話したり，書いたりすることができる。 ○比較級，最上級，原級の比較表現の文構造・意味を理解することができる。 ○セルジオ・ベニデスが司祭者になってどんなことをしたのか正しく読み取ることができる。 ○買い物の場面で使われる表現を理解し，ペアで対話ができる。 |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | <ul style="list-style-type: none"> ① 積極的に人や物について書いたり発表したりしている。 ② 買い物の場面で必要な情報を積極的に伝えたり，尋ねたりしようとしている。 |
| 外国語表現の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ① 比較表現を用いて人や物を説明するまとまりのある英文を書くことができる。 |
| 外国語理解の能力 | <ul style="list-style-type: none"> ① セルジオ・ベニデスが司祭者になって行った活動内容を正しく理解することができる。 |
| 言語や文化についての知識・理解 | <ul style="list-style-type: none"> ① 比較表現の文構造を理解している。 ② 買い物でよく使用される語彙や文の意味，及び構造を理解している。 |

4 指導・評価の計画（8時間取扱い 本時2／8）

| 次時 | 学習活動 | 指導上の留意点 【3つの視点から】 | 評価の観点（評価方法） B基準 |
|---------|---------------------------------|--|---|
| 1 | ○県の面積など2つのことを比べて説明する。 | <p>・山鹿市と他の市町村と比較する文を表現できるようにする。</p> <p>【視点1】「山鹿市の自慢を紹介する」という単元を通しての課題を設定し、目的意識・相手意識のある学習課題とする。</p> <p>【視点2】ウェビング・マップのツールを用いて、自分の紹介したい山鹿市のこと・ものを収集・分類・整理する。</p> <p>【視点3】授業の流れを示しておき、生徒に見通しを持たせる。また絵や写真などを用いて、新出表現に慣れるために、効果的にICTを活用する。</p> | <p>知識・理解の能力① 比較の表現が正しく使えている。</p> |
| 2 本時 | ○3つ以上のものや人の中で最も程度が高いものについて説明する。 | <p>・山鹿市を紹介する文の中に「最も程度の高いもの」を付け加えて説明する。</p> <p>【視点1】お互いの情報や意見・考えを伝え合い、山鹿市を紹介する文の発想を広げる活動に取り組む。</p> <p>【視点2】自分の意見・考えを英文にまとめ、さらにお互いの文章をより説得力あるものにするためのポイントを基に評価・改善し合う。</p> <p>【視点3】授業の流れを示しておき、生徒に見通しを持たせる。また絵や写真などを用いて、新出表現に慣れるために、効果的にICTを活用する。</p> | <p>知識・理解の能力①(ワークシート・観察) 比較の表現が正しく使えている 表現の能力①(ワークシート・観察) 山鹿市を紹介する3文以上のまとまった文章を書くことができる。</p> |

| | | | | |
|---|---|--------------------------|--|--|
| 2 | 3 | ○身の回りのもので同じ程度のもので説明する。 | <p>・山鹿市を紹介する文に他の市町村と比べて同じ程度のもので説明する文を付け加えるようにする。</p> <p>【視点1】山鹿市を紹介する文の中に、これまでの比較の表現を効果的に付け加えるために、お互いに情報や意見を伝え合う。</p> <p>【視点2】自分の意見・考えを英文にまとめ、さらにお互いの文章をより説得力あるものにするためのポイントを基に評価・改善し合う。</p> <p>【視点3】授業の流れを示しておき、生徒に見通しを持たせる。また絵や写真などを用いて、新出表現に慣れるために、効果的にICTを活用する。</p> | <p>知識・理解の能力① 比較の表現が正しく使えている。</p> <p>表現の能力①（ワークシート・観察） 山鹿市を紹介する3文以上のまとまった文章を書くことができる。</p> |
| | 4 | ○Program 9-1の本文の内容を理解する。 | <p>・本文の内容を理解するとともに本文の内容たずねる疑問文をつくる。</p> <p>【視点1】ペアやグループ活動で本文の内容をたずねる疑問文をつくり、互いに関わり合いながら内容理解をする。</p> <p>【視点3】授業の流れを示し生徒に見通しを持たせる。ICTを活用し絵や写真などを用いて内容理解の一助とする。</p> | <p>理解の能力①（ワークシート） 本文の内容について正しく読み取り、理解することができる。</p> |
| | 5 | ○Program 9-2の本文の内容を理解する。 | <p>・本文の内容を理解するとともに本文の内容たずねる疑問文をつくる。</p> <p>【視点1】ペアやグループ活動で本文の内容をたずねる疑問文をつくり、互いに関わり合いながら内容理解をする。</p> <p>【視点3】授業の流れを示し生徒に見通しを持たせる。ICTを活用し絵や写真などを用いて内容理解の一助とする。</p> | <p>理解の能力①（ワークシート） 本文の内容について正しく読み取り、理解することができる。</p> |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 6 | ○Program 9-3 の本文の内容を理解する。 | <p>・本文の内容を理解するとともに本文の内容をたずねる疑問文をつくる。</p> <p>【視点1】ペアやグループ活動で本文の内容をたずねる疑問文をつくり、互いに関わり合いながら内容理解をする。</p> <p>【視点3】授業の流れを示し生徒に見通しを持たせる。ICTを活用し絵や写真などを用いて内容理解の一助とする。</p> | <p>理解の能力①（ワークシート） 本文の内容について正しく読み取り，理解することができる。</p> |
| 3 | 7 | ○比較級・最上級・原級による比較表現をうまく使い山鹿市をアピールする文章をつくる。 | <p>・Program9で学習している比較表現をうまく使い，つなぎ言葉，接続詞，不定詞などこれまで習った表現を総動員して，山鹿市をアピールする文を完成する。</p> <p>【視点1】ペアやグループ活動で対話しながら，読み手を意識したつながりのある文を適切なつなぎ言葉を使ったり，理由を付け加えたりして書き上げる。</p> <p>【視点2】自分の意見・考えを英文にまとめ，さらにお互いの文章をより説得力あるものにするためのポイントを基に評価・改善し合う。</p> <p>【視点3】授業の流れを示しておき，生徒に見通しを持たせる。また単元導入で用いた山鹿市の絵や写真などを見せることで，再度まとまった文を書くヒントとする。</p> | <p>表現の能力①（ワークシート） 山鹿市をアピールする5文以上のまとまった文を書くことができる。</p> <p>知識・理解の能力① 比較級・最上級・原級の比較表現の文構造が正しく使えている。</p> |
| | 8 | ○買い物の場面で使われる表現を理解し，ペアで対話ができる。 | <p>・Expression Box の表現を用い，かつ既習事項を交えながら，ペアで会話ができるようにする。</p> <p>【視点3】授業の流れを示しておき，生徒に見通しを持たせる。また絵や写真などを用いて，新出表現に慣れるために，効果的にICTを活用する。</p> | <p>関心・意欲・態度②（観察） 既習事項を交えながら店員と客になって対話している。</p> |

5 本時の学習

(1) 目標

3つ以上のものや人の中で最も程度が高いものについて説明できるようになり，山鹿市を紹介する文に他の市町村と比較する文やつなぎ言葉を付け加えることができる。

(2) 展開

| 過程 | 学習活動【学習形態】 | 指導上の留意点及び評価 | 備考 |
|-----------|--|---|--|
| 導入 5分 | 1 既習事項の確認をする。 (1) Greeting (2) Warm Up | ○What's the date today? ○Find someone who... 【視点3】 授業の流れを示しておき、生徒に見通しを持たせる。また絵や写真などを用いて、新出表現に慣れるために、効果的にICTを活用する。 | PC TV |
| 展開 30分 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>単元目標：新しいALTに山鹿市の自慢をしよう！</p> <p>本 時：山鹿市を紹介文に「最も程度の高いもの」を付け加えて説明しよう！</p> </div> 2 本時の課題を確認する。 (1) Listen to the teachers. 【一斉】 (2) Pattern Practice 【一斉→列→個】 (3) Communicative Activity 質問・応答を行い、ワークシートに記入する。 (4) Writing 新しく習った英文を書いてみる。 注意する単語について整理する | ○Listen to us carefully and guess. ○A: Do you know the longest river in Japan ? B: The Shinano is the longest river. ○つなぎ言葉、ジェスチャー等のアドバイスをしながら、スローラーナーには個別に支援を行う。 ○英語で質問したり、ヒントを与えたりする。 ○Let's Practice. Let's do a communicative activity. ○場面設定を明確にし、2人で簡単に説明する。 【視点1】 お互いの情報や意見・考えを伝え合い、山鹿市を紹介する文の発想を広げる活動に取り組む。 ○Write some sentences about Yamaga. ○映像を見ながら英文を作る。 ○ALTと一緒に活動の仕方を説明する。 ○既習事項の英文やつなぎ言葉を例として示す。 | PC ワークシート ① PC ワークシート ① PC 例文 |
| 整理 15分 | 3 Consolidation 【個人】 (1) 本時の授業の理解を確認する。 (2) 本時の授業の自己評価を行う。 | 【視点2】 自分の意見・考えを英文にまとめ、さらにお互いの文章をより説得力あるものにするためのポイントを基に評価・改善し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価：知識・理解の能力①（ワークシート・観察）</p> <p>B：友だちにインタビューし聞き取った内容を記入することができる。</p> <p>A：友だちにインタビューし、分からないところは聞き返すなどして、聞き取った内容を記入することができる。</p> </div> <p>〈B基準に達しない児童への手立て〉</p> ○文と文のつながりに注意させ、既習事項の接続詞等を使わせたり、文の順序にも意識を持たせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価：表現の能力②（ワークシート・観察）</p> <p>B：山鹿市を紹介する3文以上のまとまった文章で書くことができる。</p> <p>A：山鹿市を紹介する4文以上のまとまった文章をつなぎ言葉や接続詞等を使って書くことができる。</p> </div> <p>〈B基準に達しない児童への手立て〉</p> ○英語学習班を活用したり、個別指導を行う。 ○学習したことの共有化を図る。 | ワークシート ② |